

令和2年 **11**月の大阪森林便り



今月の木の話



天然記念物、その主役は樹木

*世界的にみても7000年～5000年と生き続けている樹木はスギ科のものが多いためです。

*世界でどんな長寿木が生育しているか定かでないのが実情です。

*記録上は8000年の長寿木は出ていません。

氷河期の戻りの終わりが、8000年前にまで影響を与えたとされることに起因します。

*長寿はスギに譲りますが、地球に現れたのはマツが先輩。

(2008年発行 (社)大阪府木材連合会・大阪木材仲買協同組合発行「天然記念物 巨樹・古木」より抜粋・引用)



国産針葉樹合板 在庫量 6.9%減 8月末

*8月末の国産針葉樹合板の在庫量は、149,250M³と7月末から6.9%減。

*お盆休みで工場の稼働日が減少したことに加え、メーカーが減産を継続したことで生産が減少。

(2020年10月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



集成材原料 4%高 10~12月対日価格 米住宅需要が波及

*梁や柱に使う集成材の原料板(ラミナ)の対日価格が上がりました。

欧州産の10~12月積み価格は4%高。上昇は2四半期ぶり。

*住宅需要が旺盛な米国からの引き合いが強まった影響で欧州での価格が上昇。

*米国では住宅需要の回復と巣ごもりに伴うDIYの活況で木材需要が急増。

*2020年の集成材生産量は、前年比11.2%減の見通し。

*集成平角の価格は7月に7年4か月ぶりの安値となり、その後横ばい。

(2020年10月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)